



2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月10日

上場会社名 ANY COLOR株式会社 上場取引所 東
コード番号 5032 URL <https://anycolor.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田角 陸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 釣井 慎也 TEL 03(4335)4850
半期報告書提出予定日 2025年12月10日 配当支払開始予定日 2026年1月14日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の業績（2025年5月1日～2025年10月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
2026年4月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期中間期	26,326	51.8	11,072	63.8	11,081	64.1	7,722	64.9
	17,341	12.0	6,761	4.3	6,751	4.3	4,681	4.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年4月期中間期	円 銭 126.41	円 銭 125.92
2025年4月期中間期	75.51	74.49

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年4月期中間期	百万円		百万円		%	
2025年4月期	35,105		27,730		79.0	
	29,143		21,968		75.4	

（参考）自己資本 2026年4月期中間期 27,730百万円 2025年4月期 21,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年4月期	円 銭 —	円 銭 32.50	円 銭 —	円 銭 32.50	円 銭 65.00
2026年4月期	—	35.00	—	—	—
2026年4月期（予想）	—	—	—	40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年4月期の業績予想 (2025年5月1日～2026年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000 ～54,000	21.3 ～25.9	21,000 ～22,000	29.0 ～35.1	21,000 ～22,000	29.5 ～35.7	14,570 ～15,260	26.6 ～32.6	238.41 ～249.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

- 2026年4月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2026年4月期(予想)の1株当たり当期純利益は、2026年4月期中間期末の発行済株式数(除く自己株式)で除して算出しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ①以外の会計方針の変更：無
- 会計上の見積りの変更：無
- 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年4月期中間期	61,114,259株	2025年4月期	61,067,519株
② 期末自己株式数	2026年4月期中間期	6株	2025年4月期	6株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年4月期中間期	61,093,029株	2025年4月期中間期	62,003,993株

※ 第2四半期(中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、前事業年度末より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前中間会計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は「魔法のような、新体験を。」というコーポレート・ミッションのもと、新しいエンターテイメントを提供する会社として、VTuberグループ「にじさんじ」の運営を主軸としたエンターテイメント領域での事業展開を行っております。当社のVTuberビジネスは、主にYouTubeにおけるライブ配信動画を中心とした動画配信活動によるライブストリーミング領域、当社がIPを有するVTuberのオリジナルグッズや音声を録音したデジタル商品の販売を行うコマース領域、当社所属のVTuberが出演する、音楽をはじめとしたイベントを主催するイベント領域、企業からのタイアップ広告、IPライセンス、メディア出演等の案件であるプロモーション領域の4領域で構成されております。

VTuberグループ「にじさんじ」及び「NIJISANJI EN」に所属するVTuber数は170人（前年同期比4名増加）となりました。また、「にじさんじオフィシャルストア」や「にじさんじFAN CLUB」等の利用の際に必要となるIDであるANYCOLOR IDは1,852千ID（前年同期比28.5%増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高26,326百万円（前年同期比51.8%増）、営業利益11,072百万円（前年同期比63.8%増）、経常利益11,081百万円（前年同期比64.1%増）、中間純利益7,722百万円（前年同期比64.9%増）となりました。

なお、当社は動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は31,622百万円となり、前事業年度末に比べ6,000百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が6,281百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は3,482百万円となり、前事業年度末に比べ38百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が47百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、35,105百万円となり、前事業年度末に比べ5,961百万円増加いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は7,375百万円となり、前事業年度末に比べ199百万円増加いたしました。これは主に流動負債その他が293百万円減少した一方で、未払法人税等が457百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、7,375百万円となり、前事業年度末に比べ199百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は27,730百万円となり、前事業年度末に比べ5,761百万円増加いたしました。これは主に中間純利益の計上7,722百万円及び剰余金の配当1,984百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「現金」という。）は、前事業年度末と比べて6,281百万円増加し、22,099百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は8,527百万円（前年同期は3,898百万円の獲得）となりました。

これは主に、税引前中間純利益11,081百万円、法人税等の支払額2,965百万円、売上債権の減少額2,013百万円、棚卸資産の増加額1,634百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は225百万円（前年同期は1,782百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出150百万円、無形固定資産の取得による支出17百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は2,020百万円（前年同期は7,415百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払額1,984百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

①業績予想

第1四半期において、コマースおよびイベントを中心に売上高は当初計画を上回って着地し、第2四半期においても計画通りの進捗となっております。第3四半期以降においても、コマースを中心としてVTuberユニットの周年施策、季節性施策、ライブ関連グッズなどの大型施策により強い需要が見込まれており、当初計画を上振れて推移することが見込まれております。コスト面においても直接原価の改善が奏功するとともに、その他原価・販管費についても計画通りの推移となり、利益面でも想定を上回る進捗となっております。

引き続き売上高の伸長が見込まれること、利益面におきましても堅調に推移することが見込まれることを勘案すると、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益が2025年9月10日の公表数値を上回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を上方修正することといたしました。

②配当予想

業績予想の修正を踏まえ、配当性向を30%以上とする当社の配当方針に基づき、2026年4月期配当予想を1株あたり70円00銭から75円00銭に修正いたします。

詳細につきましては、本日（2025年12月10日）公表の「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当中間会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	15,818	22,099
売掛金	5,922	3,909
商品	3,608	5,243
その他	272	370
流动資産合計	25,622	31,622
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,567	1,567
減価償却累計額	△117	△164
建物(純額)	1,449	1,402
工具、器具及び備品	1,238	1,435
減価償却累計額	△411	△543
工具、器具及び備品(純額)	826	892
建設仮勘定	65	-
有形固定資産合計	2,341	2,294
無形固定資産	172	157
投資その他の資産		
出資金	66	-
敷金	549	576
その他	391	454
投資その他の資産合計	1,007	1,030
固定資産合計	3,521	3,482
資産合計	29,143	35,105
負債の部		
流动負債		
買掛金	2,482	2,563
1年内返済予定の長期借入金	45	-
未払法人税等	3,115	3,573
その他	1,531	1,237
流动負債合計	7,175	7,375
負債合計	7,175	7,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	449	461
資本剰余金	2,821	2,833
利益剰余金	18,696	24,434
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,968	27,730
純資産合計	21,968	27,730
負債純資産合計	29,143	35,105

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自2024年5月1日 至2024年10月31日)	当中間会計期間 (自2025年5月1日 至2025年10月31日)
売上高	17,341	26,326
売上原価	8,966	13,283
売上総利益	8,374	13,042
販売費及び一般管理費	1,613	1,970
営業利益	6,761	11,072
営業外収益		
受取利息	0	14
補助金収入	1	0
為替差益	0	–
その他	0	4
営業外収益合計	2	19
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	–	6
支払手数料	11	4
その他	0	0
営業外費用合計	12	11
経常利益	6,751	11,081
税引前中間純利益	6,751	11,081
法人税、住民税及び事業税	2,059	3,409
法人税等調整額	9	△50
法人税等合計	2,069	3,358
中間純利益	4,681	7,722

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自2024年5月1日 至2024年10月31日)	当中間会計期間 (自2025年5月1日 至2025年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	6,751	11,081
減価償却費及びその他の償却費	94	247
株式報酬費用	—	2
受取利息	△0	△14
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△0	—
支払手数料	11	—
売上債権の増減額(△は増加)	125	2,013
棚卸資産の増減額(△は増加)	△583	△1,634
仕入債務の増減額(△は減少)	132	81
その他の資産の増減額(△は増加)	△35	△31
その他の負債の増減額(△は減少)	△364	△267
その他	—	0
小計	6,132	11,477
利息の受取額	0	14
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2,233	△2,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,898	8,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,732	△150
無形固定資産の取得による支出	△49	△17
敷金の差入による支出	△0	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,782	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△56	△45
自己株式の取得による支出	△7,511	—
株式の発行による収入	153	8
配当金の支払額	—	△1,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,415	△2,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,299	6,281
現金及び現金同等物の期首残高	16,291	15,818
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,992	22,099

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2024年5月1日 至 2024年10月31日）

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2025年5月1日 至 2025年10月31日）

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間（自 2024年5月1日 至 2024年10月31日）

当社は、2024年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,712,000株の取得を行いました。この結果、当中間会計期間において自己株式が7,499百万円増加いたしました。また、2024年7月10日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月24日付で、自己株式3,487,271株の消却を実施いたしました。この結果、当中間会計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ10,000百万円減少し、当中間会計期間末において利益剰余金が13,841百万円、自己株式が0百万円となっております。

当中間会計期間（自 2025年5月1日 至 2025年10月31日）

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。